

ADDITIVE POWER FOR MANUFACTURING ORNAMENT

Patent number: JP11299515
Publication date: 1999-11-02
Inventor: YOSHIOKA TETSUO
Applicant: YOSHIOKA TETSUO
Classification:
- international: A44C27/00; A61N1/10; A61N2/08; A61N5/06
- european:
Application number: JP19980124274 19980416
Priority number(s):

Abstract of JP11299515

PROBLEM TO BE SOLVED: To impart a health promoting effect and a tranquilizing effect by means of a complex work between a minus ion effect owing to the electric work of tourmaline and a magnetic work owing to magnetite by mixing a tourmaline powder material with an energy exchange material powder body and preparing a mixed powder body.

SOLUTION: The tourmaline powder material is mixed with the energy exchange material so as to prepare additive powder for manufacturing an ornament. The mixed powder body is favorable to be the one containing the magnetic powder body. The tourmaline powder body is a substance for irradiating far infrared rays of a stable wave length even in the range of 30-36 deg.C temp., an electric stimulation is given on a skin surface by wearing it, a cellular tissue is stimulated by the syncretistic effects and metabolism and blood circulation are promoted. One or plural kinds of components selected from the group consisting of barium, sluminam, nickel, copper, iron, sodium, boron, beryllium and silicon are used as the energy exchange material.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-299515

(43) 公開日 平成11年(1999)11月2日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 4 4 C 27/00

A 4 4 C 27/00

A 6 1 N 1/10

A 6 1 N 1/10

2/08

5/06

A

5/06

1/42

H

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平10-124274

(22) 出願日

平成10年(1998)4月16日

(71) 出願人 394005410

吉岡 鐵夫

福井県福井市今市町第63号3番地の10

(72) 発明者 吉岡 鐵夫

福井県福井市今市町第63号3番地の10

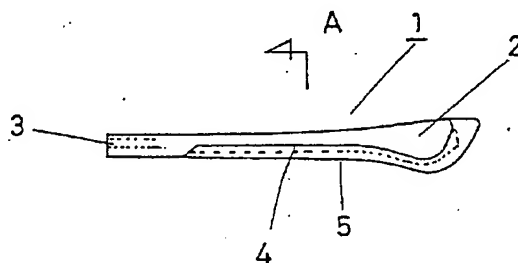
(74) 代理人 弁理士 西 孝雄

(54) 【発明の名称】 装身具製造用の添加材料粉末

(57) 【要約】

【課題】 樹脂、セラミックス、七宝等の装身具の材料物質に添加する粉状の添加材に関し、遠赤外線効果や磁気効果に加えてマイナスイオン効果の複合作用により、優れた健康増進作用や精神安定化作用を装身具に付与することが可能な原料物質を提供する。

【解決手段】 トルマリンの粉状体とエネルギー交換材料の粉状体とを含み、更に好ましくは、磁鉄鉱の粉状体を含む混合粉状体である。エネルギー交換材料としては、ベリウム、アルミナ、ニッケル、銅、鉄、ナトリウム、硼素、ベリリウム及び珪素のいずれの複数をを用いる。エネルギー交換材料から放射される遠赤外線効果と、トルマリンの電気作用によるマイナスイオン効果と、磁鉄鉱を用いたことによる優れた磁気作用とが複合して人体に作用し、より優れた健康増進効果や精神安定化効果が得られる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 トルマリンの粉状体とエネルギー交換材料の粉状体とを含む混合粉状体からなることを特徴とする、装身具製造用の添加材料粉末。

【請求項2】 混合粉状体が磁鉄鉱の粉状体を含む混合粉状体である、請求項1記載の装身具製造用の添加材料粉末。

【請求項3】 エネルギー交換材料がベリウム、アルミナ、ニッケル、銅、鉄、ナトリウム、硼素、ベリリウム及び珪素からなる群から選ばれた一ないし複数種の成分からなっている、請求項1又は2記載の装身具製造用の添加材料粉末。

【請求項4】 エネルギー交換材料の各成分の割合がベリウム15～19重量%、アルミナ20～24重量%、ニッケル3～7重量%、銅8～12重量%、鉄17～21重量%、ナトリウム0.5～2重量%、硼素0.5～2重量%、ベリリウム0.1～1重量%及び珪素4～8重量%である、請求項1、2又は3記載の装身具製造用の添加材料粉末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、樹脂製、セラミックス製、七宝等の材料からなる装身具ないしその部品を製造する際に、それらの材料物質に添加して、健康増進作用や精神安定化作用を付与するのに用いる粉末材料に関するもので、たとえば眼鏡フレーム、イヤリング、ネックレス、ブレスレット、指輪、ネクタイピン等の装身具ないしそれらに用いる部品を成形する際に、また装身具ないしそれに用いる部品に塗布する装飾用塗料を製造する際に、その材料物質に添加する粉状の添加材に関するものである。

【0002】

【従来の技術】磁石用原料粉末と遠赤外線放射材料粉末とを混合して焼成することにより、磁気による人体の血行促進効果、動植物や土壌水などを活性化させる効果及び遠赤外線による血行促進及び新陳代謝促進効果を人体に与える複合材料を得ることは、特開平9-55309号公報に開示されている。また永久磁石材料粉末と遠赤外線放射材料粉末とに樹脂、ゴム等のバインダーを加えて所定形状に成形することにより、磁気による血行促進効果と遠赤外線による血行促進効果、神経繊維活性化効果、鎮痛効果等を人体に及ぼすことができるようにした複合材料が特開平5-347206号公報に開示されている。さらに遠赤外線放射材料としてトルマリンを用いることが前記特開平9-55309号公報に開示されている。一方、特開平5-347206号公報記載の発明では、遠赤外線放射材料として黒鉛、焼成白磁、アルミナ、酸化第一鉄、炭化珪素、炭素、マグネシア、シリカ等が用いられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、上述したような従来のこの種材料の遠赤外線効果や磁気効果に加えて、トルマリンが有するマイナスイオン効果をより良く発揮させ、それらの複合作用により、従来のこの種材料よりも優れた健康増進作用や精神安定化作用を装身具に付与することが可能な原料物質を得ることを課題としており、樹脂成形品、七宝、セラミックス成形品及び装飾用塗料を製造するときにその原料に添加して広汎な用途に用いることが可能な材料粉末を得ることを課題としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1の装身具製造用の添加材料粉末は、トルマリンの粉状体とエネルギー交換材料の粉状体とを含む混合粉状体からなることを特徴とする。また請求項2の発明は、上記混合粉状体が磁鉄鉱の粉状体を含む混合粉状体であることを特徴とするものである。

【0005】エネルギー交換材料としては、ベリウム、アルミナ、ニッケル、銅、鉄、ナトリウム、硼素、ベリリウム及び珪素からなる群から選ばれた一ないし複数種の成分を用いることができる。エネルギー交換材料の成分の割合は、ベリウム15～19重量%、アルミナ20～24重量%、ニッケル3～7重量%、銅8～12重量%、鉄17～21重量%、ナトリウム0.5～2重量%、硼素0.5～2重量%、ベリリウム0.1～1重量%、珪素4～8重量%であることが好ましい。

【0006】

【作用】前述したように、体表面に磁石や遠赤外線放射物質などを接触させることによる微弱な磁気作用や遠赤外線作用により、血行の促進や精神の安定化などを図ることは従来から行われている。この発明では一歩進んで、エネルギー交換材料にから放射される遠赤外線効果と、トルマリンの電気作用によるマイナスイオン効果と、磁鉄鉱を用いたことによる優れた磁気作用とが複合して人体に作用し、より優れた健康増進効果や精神安定化効果が得られる。

【0007】トルマリン粉状体は、電気石と呼ばれる結晶鉱物のトルマリン鉱石を粉砕したもので、空気中に含まれる水分に対して微弱な水の電気分解を行い、負電荷をもった分子（ヒドロキシルイオン）を発生し、肩こり、神経痛、リウマチ、冷え症、腰痛、荒れ性、打ち身、捻挫、霜焼け及びあせもの治療、疲労回復、安眠並びに体質改善に優れた効果（マイナスイオン効果）を発揮する。

【0008】またトルマリン粉状体は、30～36℃の温度域にあっても安定した波長の遠赤外線を放射する物質であり、身に付けることにより皮膚表面に電氣的な刺激を与えると同時に遠赤外線を放射し、これらの相乗効果により細胞組織を刺激して新陳代謝や血液の循環を促進させる。

【0009】一方、エネルギー変換材料に含まれる鉄や珪素は、静磁界をシールドし、アルミナ及びニッケルは静磁界あるいは周波数が低い電界をシールドし、銅は高周波数域でシールドする。このようなエネルギー変換材料は、電磁波をシールドすると共に電磁波のエネルギーを共存するトルマリン粉状体に加え、前記トルマリンの電気的特性をより良く発揮させる。磁鉄鉱はその磁力がトルマリンに作用してトルマリンに微弱電流を発生させ、皮膚表面に電氣的な刺激を与える。

【0010】

【発明の実施の形態】図1及び図2は、パッド部をこの発明の添加材料粉末を混合した樹脂成形品としたメガネ枠用のモダンを例示した図である。モダンは、主として金属製メガネ枠のテンプレの耳掛け部分に用いられる樹脂製のメガネ部品であり、耳に直接当接する部分にパッド部が設けられている。

【0011】図のモダン1は、ポリカーボネートで成形した鞘部2を備えている。鞘部2は前端（テンプレに挿通する側）が幅狭で、後端に向かって上下幅が漸次広くなっており、前端から後端に向かって軸方向にテンプレの耳掛部を挿通するための有底の中心孔3が設けられている。鞘部2の下側後半部には、その長手方向に沿って、支持突起4が下向きに突設されている。この支持突起4に断面U字形のシリコンゴム製のパッド部5が付着している。

【0012】モダン1を製造するときは、ゴム原料に加硫剤、加硫促進剤、補強剤、充填剤、老化防止剤及び軟化剤を配合してシリコンゴムを製造し、練りローラで熟入れをして可撓性を増してから成形機で断面U字形のシリコンゴム製のパッド部5を成形する。このパッド部5を金型の所定位置にセットし、ポリカーボネート樹脂液を圧入して鞘部2を成形する。

【0013】モダン1を製造する他の方法としては、シリコン樹脂で鞘部2を成形し、この鞘部を金型の所定位置に固定して当該金型にポリウレタンゴムを流し込んで、支持突起に接合した断面U字形のポリウレタンゴム

製のパッド部5を成形する方法がある。

【0014】上記いずれかの方法で鞘部とパッド部とを二重成形して一体化するときは、鞘部を形成する樹脂とパッド部を形成する材料との物性値を考慮して、その成形方法を適宜選択する。更にこのようにして一体化した鞘部やパッド部に、模様を形成する部品やワンポイント部品を同時に又は同様な方法を繰り返すことにより一体化することができる。

【0015】パッド部5を成形する前のゴム原料には、トルマリンの粉末と共に、ベリウム、アルミナ、ニッケル、銅、鉄、ナトリウム、珪素又は珪素の粉末を添加する。添加剤の好ましい成分の割合は、ベリウム15～19重量%、アルミナ20～24重量%、ニッケル3～7重量%、銅8～12重量%、鉄17～21重量%、ナトリウム0.5～2重量%、珪素0.5～2重量%、ベリウム0.1～1重量%及び珪素4～8重量%である。更に上記添加材料と共に磁鉄鉱の粉末を混合することができる。磁鉄鉱の粉末はその磁力をトルマリンに作用させてトルマリンに微弱電流を発生させる。

【0016】この発明の添加材料粉末を樹脂に混合して成形する際の、バインダとなる樹脂としては、ポリカーボネート（PC）、アセテート、セルロイド、シリコン、軟質塩化ビニル樹脂、ウレタン樹脂、アクリル樹脂などの合成樹脂又は天然ゴムやその誘導体、合成ゴムを使用することができる。合成ゴムとしてはSBR、BR、NBR、CR、ステレオゴム、オレフィンゴム、多硫化ゴム、ポリウレタンゴム、シリコンゴム、フッ素ゴム、ニトロソゴムなど各種のゴムを使用することができる。

【図面の簡単な説明】

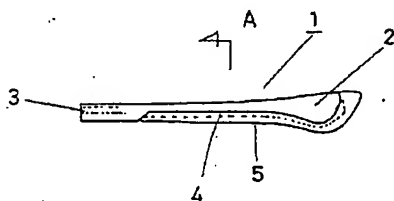
【図1】装身具の例を示すメガネ枠のモダンの側面図

【図2】図1のA部断面図

【符号の説明】

- 1 モダン
- 5 パッド部

【図1】



【図2】

